

韓国・中国との草の根交流をすすめよう

荒川区は2月17日済州市と、3月10日大連市中山区と友好都市提携を調印。文化・スポーツ・産業・観光など、さまざまな交流が期待される。

もっと知ろう◆済州島(チェジュド)： アジアのハワイと呼ばれる観光地。12世紀の高麗王朝時代、朝鮮半島がモンゴル人(元王朝)に支配された時、最後まで抵抗した人たちがこの地で徹底抗戦した。日本の敗戦時、ソ連とアメリカの侵攻により分断され、李承晩による大韓民国成立(1948年8月15日)の直前、4月3日に起こった済州島四・三事件で大弾圧を受け、3万人が殺されたとされる。この時に日本に逃れ、以後在日となった人々も多い。三河島には、とりわけ済州島出身者が多い。



もっと知ろう◆大連： 日露戦争後、遼東半島南端の港を、日本が租借権を得て大連と改名し、日本の大陸侵略の基地とした。40年間統治した日本の影響で、現在でも大連外語学院などがあり、日本語を学ぶ人も多い。日本の企業などがいち早く進出した。

アジアの友好のために◆歴史を知ろう

日本で伊藤博文といえば、明治政府の初代首相として有名だが、韓国では、初代韓国統監・伊藤博文を暗殺した安重根が民族の英雄として有名である。このような歴史認識の違いがあることを知り、お互いを尊重することが必要だと思う。

置き去りにされた朝鮮人「慰安婦」展 4月29日～11月12日

WAMアクティブ・ミュージアム(女たちの戦争と平和資料館)
新宿区西早稲田2-3-18 TEL: 3202-4633 FAX: 3202-4624



日本の敗戦時、日本軍はアジア各地で慰安所に連行した女性たちを置き去りにしました。半世紀をすぎてようやく祖国に帰った女性たち、今なお帰国できない女性や連行地で息をひそめて生きている女性たちがいる。女性たちにとって、いまだ終わらない戦争……ハルモニたちの叫びに耳を傾けて下さい。



NEWS

杉並区議会 費用弁償を廃止

23区初 年間1619万円削減

議員が議会に出席すると支給される費用弁償＝1日当たり6000円を杉並区議会では全議員の提案で廃止を決定。荒川区議会では1日3000円だが、交通費等としては高額すぎる。杉並区に続いて、全会一致で廃止を決めたいところだが……。

1942年(昭和17年)4月18日

尾久初空襲にちなみ平和を祈ろう

——地域の歴史を伝えよう——

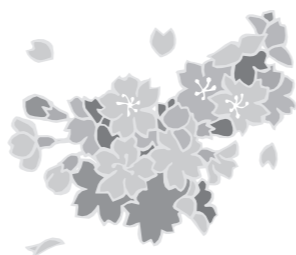
真珠湾攻撃から4ヶ月後、日本で初めて米軍による無差別攻撃を受けたのが東尾久8丁目だった。当時は「米軍機を撃墜した」とウソの報道が行われ、中国に逃れた米軍ドーリットル隊を掃討するため、多くの中国人が殺された。あの戦争の縮図をみるようである。

復興を記念して建てられた熊野土地区画整理組合の碑を区は保存している。碑の拓本を前に、戦争のすべての被害者を追悼するつどいは、今年7回目を迎える。

4月16日(日)午後2時より 尾久橋たもと
尾久初空襲戦争犠牲者追悼のつどい

読者から

- ◆錦帯橋の岩国市で、米軍基地を拡大する国の方針に市民が住民投票で「NO」といった。荒川区民も国土が爆撃されることを前提にした「国民保護」法による区条例など断固葬るべきだ。(春)
- ◆根尾谷の淡墨桜、三春の滝桜、歴史を経た1本の木に多くの人が魅せられる。所狭しと植えられ生長できるのかと思わせる尾久の原のしだれ桜。もっと長い目で考えられないか?(高)
- ◆秋篠宮家紀子妃の妊娠で「皇室典範」改正論議は休戦。男系しか天皇に認めないと、声高に主張する人が居るが、今の時勢では無理な話。無理は人々への強制を伴う事に注意したい。(郎)



せの喜代の区議会ノート

2006・春 第21号

新星クラブ

瀬野喜代(みんなで街づくりをすすめる会代表) ホームページは【せの喜代】で検索してください
子育て・介護・環境 市民参加で街づくり <http://senokiyo.sakura.ne.jp/>

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:seno@mua.biglobe.ne.jp

2006年第1回区議会定例会を終えて



健康づくりと介護予防

4月から区の組織体制が変わります。前区長・助役の収賄事件を受けて昨年設置された不正防止監は廃止となり、いままでの保健福祉部が、健康部・福祉部・子育て支援部に分かれます。

健康づくりや子育て支援に重点的に取り組んでいく区の姿勢を示したともいえます。

介護保険が始まって6年たち、大幅にサービス利用が増加しているため、今回の見直しでは、介護保険料が年間最低2万6570円～最高10万6280円へと値上げされることになりました。介護サービスの現状は、特養ホームの待機者700人という数が示すとおり、まだまだ十分とはいえません。しかし、大きな施設をつくれればさらに保険料が上がります。あまりの負担増に介護保険への国庫負担の増加・消費税の投入の議論が始まっています。

保険料が高くて充実した介護サービスを望むのか、不十分なサービスでも保険料が安いほうを選ぶのか、区民の意見が反映されることになっています。また、区民が介護予防に取り組んだ結果として、介護が必要になる人が減り、寝たきりになる人が減り、認知症になる人が減れば、当然保険料の値上げを抑えることにつながります。年をとっても介護を受けなくてすむよう、皆で考え実践しましょう。

地域密着型在宅支援 サービスの充実を

できれば自宅で過ごしたいのが誰しもの願い。「訪問」「通所」「泊まり」の組み合わせができる小規模多機能型居宅介護や夜間も自宅で介護サービスを受けられるなどの在宅介護の充実で、介護を受けるお年寄りにとっても、家族にとっても、安心して暮らせる街づくりを。

23区で重度者が一番多い荒川区

40歳代の高血圧の患者数が23区平均の3倍という荒川区(01年区民健康白書)。脳血管障害後遺症が要介護度4あるいは5の高齢者が多い原因かもしれません。きちんとした調査と健康づくり・介護予防の連携した取り組みが必要です。



障がい者の就労を支援する 移動パン工房が開店

パン工房フリージア
TEL.3893-7778

障がい者雇用の現実には厳しい。福祉作業所では工賃1万円以下がほとんど。障がい者も地域に出て一緒に働こうとNPO法人フリージアが、あらかわ遊園で焼きたてパン工房を開店(土日祝)。毎週水曜日には社会福祉協議会玄関(南千住イトーヨーカ堂前)でも営業開始。

障害者自立支援法の施行で利用料自己負担一割となってしまう今、就労支援がますます必要です。

週1回営業する駐車場やボランティア、寄附などを求めています。

皆さんの温かいご支援をお願いします。

